

夏緑 / 多年草 / 地被類等 / 草本植物 / 在来種



科名 オミナエシ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い

日当たりのよい山野に自生し夏過ぎに茎の頂部に黄色い小さな花をたくさんつける。秋の七草の一つで、品種改良されることもないため文字通り野の花。夏過ぎに長い花茎を伸ばし、その先に花をつけるため、遠目にも目立つようになる。同じ科のオトコエシは白い花をつける。



葉



花



花拡大



紅葉

Memo

花を室内に活けておくと、醤油の腐ったような匂いが漂うため敗醬（はいしょう）とも呼ばれる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期							■						
果 実		(花後、切り戻す)											
紅 葉													
施 肥													
剪 定							■					■	

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾	○	○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○	○				

ポイント

日当たりよい肥沃地を好む。夏過ぎに花茎を伸ばすと倒れやすくなるので、支柱を添えるとよい。3～4株植えると野趣ある風情が楽しめる。秋の七草ではあるが、咲く時期は6～9月頃と差がある。

剪 定

放任すると大きくなり倒れやすくなるので、1m前後で花をつけるよう摘芯するとよい。花後、地際まで切り戻す。短い地下茎を伸ばし、周囲に新しい株を作るので株分けもできる。

病虫害

うどんこ病が発生することがある。

呼べる蝶 

ウスイロヒョウモンモドキ・[キタテハイチモンジセセリ](#)・[ヒメアカタテハ](#)
[キタキチョウ](#)